

第70回牛鬼会議 会議録

■日時：令和4年6月17日（金） 18：00～20：00

■場所：宇和島市総合福祉センター 3階 ハイブリット方式（会場参加・オンライン参加）

■参加者：15名

□会場

愛媛大学（前田眞）、吉田町手をつなぐ育成会（山本和美）、地域支え合いセンター（佐藤猛）、宇和島市社会福祉協議会（松田伸一、奥野佳代）、愛媛新聞社南予支社（阪和舞）、宇和島市市民課（東宏和）、宇和島 NPO センター（谷本友子、山口勇喜、岡田雅信、林昭子）

□オンライン

一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団（霜村一郎）、Clean the coast（西本和弘）、オフィスセイケ（清家正亀）、特定非営利活動法人 U. grandma. Japan（折原理恵）

■内容

1. 会議参加者アンケートによる提案と課題

(1) 宇和島 NPO センター

①牛鬼会議の新規参加団体 ②防災 BOX の開催 ③防災ゼミな～る（防災国体）

2. 関係団体からの活動報告と予定（別紙活動記録参考）

(1) 宇和島市活動団体 CleanTheCoast

①ブルーサンタ 2022（小池、白浦） ②宇和島市ごみ清掃イベント助成金

(2) 宇和島 NPO センター

①宇和島 7. 7 農園計画（被災地農地（田）の活用） ②ブルーサンタ 2022（小池、白浦）
③吉田中学校生徒「クリーン吉田」ボランティア活動 ④平成 30 年 7 月豪雨災害 追悼式
100 万人のキャンドルナイト

(3) 宇和島市

①災害義援金 ②平成 30 年 7 月豪雨災害宇和島市追悼式

3. その他（イベントや活動等予定一覧 令和4年（2022年）5月、6月、7月）

※別紙、そのほか（イベント等の開催状況）ボランティア等募集案内など

(1) 一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団

①環境事業の日程

(2) 特定非営利活動法人 U. grandma. Japan

①もてころ食堂 ②キッチンカー ③出張こども食堂

(3) 地域支え合いセンター

①サロン活動・被災者支援

(4) オフィスセイケ

①FM ガイヤ

(5) 吉田町手をつなぐ育成会

①障害者一般就労移行等促進事業合同説明会 in なんよ

(6) 宇和島市社会福祉協議会

①宇和島地区権利擁護センター「ピット」

(7) 愛媛大学

①八幡浜トロール会議

1. 会議参加者アンケートによる提案と課題

◆宇和島 NPO センター（谷本）

①牛鬼会議の新規参加団体

- ・新たに「パフィオ宇和島」、「ホリバタ」の両団体を牛鬼会議への参加を呼びかけたい。パフィオ宇和島のイベント情報を共有いただき情報の共有を語る。ホリバタも一緒に協働。皆さんがよければ、両団体に牛鬼会議に参加していただく。両団体に参加の意向を確認済。参加の意向は聞いている。いかがか。

→（全員）

- ・参加いただく方向で異論なし。次回牛鬼会議から参加いただく方向で案内する。

②防災 BOX の開催（林）

日時：9/17（土）、9/18（日）※どちらかで開催

場所：きさいや広場

- ・「子ども食堂連絡協議会」とのコラボを検討しているほか牛鬼会議参加者の中からも一緒に活動をしていただきたい。ひとり親世帯や困窮世帯の方からの聞き取りやニーズを拾う活動を促進したい。降雨体験などの企画も検討。来年3月には市内商店街での開催も検討。NPO 団体の皆様のほか消防署やキッチンカーの参画を検討中。
- ・今年度、市から体験型防災プログラムを受託。防災関係の企画を2回開催するうちの1回をきさいや広場で開催。商店街の企画は雨天時でも開催可能。商店街を賑やかにしたいということと市内 NPO 団体の活動を啓発できるスペースを作りたい。進捗は共有するので企画やアイデアの助言をお願いしたい。ライブ配信も検討。

→（オフィスセイケ）

- ・当日のライブ配信等、何れかの形で貢献したい。

③防災ゼミな～る（防災国体）（前田）

- ・現在、3年目（第3クール）。全国の高校6校が連携して進めている。初年度は本市の高校生と福島高校生徒が互いの災害にたいする思いや復興に向けての意見交換。
2年目からは兵庫県灘高校の生徒等も参加し「被災地と未災地をどう繋ぐか」という議論が行われた。
3年目は「防災国体」のブースに出展してはどうかという意見も出た中で、災害時に自分たちの学校が避難場所になることから避難場所の運営を行う中で自分達が活動できること、ノウハウを作り上げたいということ取組が進んでいる。福島高校発で避難所運営ゲームを作ろうという動きが生まれている。防災国体では、ワークショップを開催する中でレシピの公表や各6校で発表できるところにはプレゼンをしてもらうことを検討。また、避難所運営ゲームのワークショップも検討。会場までの移動に係る経費は福島高校は確保済でそのほかの高校は検討中。防災国体の出展時期は10月22日（土）、23日（日）。3年目（第3クール）は、「think から action」へという捉え方でいま進んでいる。対話をしながら実行するための応援が必要となるため、皆さま、応援していただけるとありがたい。

○そのほかのご意見

(一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 (霜村一郎))

- ・防災関係を中心とした活動イベントを実施する際、各団体がそれぞれ参加できるイベントを年2回程度開催することができれば、会議も継続していく。活動自体はそれぞれ違うと思うが共通した活動を持った方が良いのではないかと。

→ (NPO センター (谷本))

- ・来年3月にNPO団体の活動を啓発できる企画を検討。現在、牛鬼会議に参加している方々、NPO団体以外の方も含めた交流会を検討。市内NPO団体同士が牛鬼会議とは別の機会に交流会等を通じてお互いを知る機会を作る。互いに困っていることを知り、支援することができればと考えている。
- ・元々、災害支援を中心として始まった集まりの場。これまで復旧・復興に向けての情報共有がメインだったがこれからは今後発生が予想される災害に向けて顔の見える関係性をつくり、できることを共有していく。

2. 関係団体からの活動報告と予定 (別紙活動記録参考)

◆宇和島市活動団体 CleanTheCoast (西本)

①ブルーサンタ 2022 (小池、白浦)

日時: 6/25 (土) ※雨天の場合は翌日順延

場所: 小池地区、白浜地区

- ・現在、ボランティア参加者 17 名。午前中の参加希望者が多いがもう少し参加者を募りたい。NPO センター、社協の LINE でも募集。市職員にも参加を依頼中。LINE を使えない方がいたら NPO センターに相談をいただきたい (ボランティアバンク)。

→ (NPO センター (谷本))

- ・当日、小池地区に宇和島グランマからもキッチンカーを、白浦地区では地元の方にカレーを作ってください。当日海岸清掃ができない方も、地域周辺の清掃活動を行い、一緒に昼食を取ることができたら良い。
- ・白浦にも訪問し自治会にもチラシを配り回覧してもらおう。白浦コミュニティセンターの使用も例年通りお願いしている状況。

②宇和島市ごみ清掃イベント助成金

- ・本年度より、市が市が海岸清掃活動に対する助成制度 (宇和島市ごみ清掃イベント助成金) を創設している。現在申請件数 1 件。
様々な地域、自治会、愛護会、学校などの団体でも申請可能。参加者 10 名以上で 6 万円、30 名以上で 10 万円が申請できる。活用したいという方がおられたらパッキングも可能なので是非お声かけいただきたい。

◆宇和島 NPO センター (山口)

①宇和島 7. 7 農園計画 (農地 (田) の活用)

- ・貸し出しをしている農地 (田) 所有者からの紹介により、作付して活動資金とすることを検討。NPO センターからは農機具の確保など、協力できることを支援していく。

②ブルーサンタ 2022（小池、白浦）

・※宇和島市活動団体 CleanTheCoast からの説明のとおり。

③吉田中学校生徒「クリーン吉田」ボランティア活動

・南予きずな博、防災減災プログラム「ブラ防さんぽ」のルートにある吉田図書館周辺の掃除について、吉田中学校教頭と話をしているほか、立間川清掃活動の協力についても検討中。

④平成 30 年 7 月豪雨災害 追悼式 100 万人のキャンドルナイト（谷本）

・コロナ禍でもあり、「線香花火ナイト」のみの開催。陸前高田市から魚山氏にも来宇していただけるよう調整中。チラシは作成中。少しでも多くの方に参加いただけるよう周知したい。
線香花火は配布し、19 時 30 分着火予定。全国で開催している各所とオンラインで接続予定。

◆宇和島市（東）

①災害義援金

・平成 30 年 7 月豪雨災害の被災者の方々に配分させていただいている義援金について、申請期限が令和 4 年 6 月 30 日（木）までとなっている。申請期限が近づいているため、ご承知いただきたい。

②平成 30 年 7 月豪雨災害宇和島市追悼式

・令和 4 年 7 月 7 日（木）に開催。場所は宇和島市吉田公民館 2 階大ホール。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は一部関係者のみで開催。自由献花は同会場で 11 時から 17 時までの間、受付。同日正午に行政連絡放送で黙祷の呼びかけを行う。

※①②ともに市ホームページに掲載しているため、詳細は市ホームページでご確認いただきたい。

3. その他（イベントや活動等予定一覧 令和 4 年（2022 年）5 月、6 月、7 月）

◆一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団（霜村）

①環境事業の日程

・貝絵のアートについて（2 回に分けて開催）

1 回目：8/7（日）～9/5（月）。市内商店街 5 店舗（予定：宇和島信用金庫恵美須町支店、伊予銀行宇和島支店、市市民サービスセンター、御殿町画廊、珈琲亭 TA0）を使い展示。作品は全国の絵画教室（14、5 団体）に貝殻を送って作品を作成。

伊予銀行宇和島支店での展示についてのみ JICA からパネルを借り背面ボードを使った SDGs パネル展も開催。

2 回目：9/21（水）～25（日）。さいや広場展示室にて展示。宇和島圏域の小中学校の貝殻アート展示会を開催。この際にも JICA からパネルを借り展示する。絵画教室作品も同時展示。

・準備及び展示の手伝い

作品は商店街の開催最終日 9/5 に搬出、9/21 にきさいや広場へ搬入。この間、保管するかどこか別の場所で展示をするか検討中。展示できる場所があればそちらに持って行くこともできる。展示希望の声があれば連絡いただきたい。

搬入と陳列、展示会の準備を手伝いたいという方がいれば連絡を。時間帯は午後の予定。手当もいくらか出せる。

愛媛大学小林先生に8月に講演会の準備をしてもらってたが新型コロナ感染症が収束していないため小中学校の意向で今回は断念。アートの表彰式もきさいや広場での開催は中止。各学校へ賞状と副賞を贈り各学校で表彰していただく。(20数名を予定)9月26日(月)以降、web上でアート展示会を開き全作品を展示。チラシは作成するがまだできていない。7月中旬頃からの配布予定。

→ (NPOセンター(山口))

チラシを共有いただけると配布も可能。

準備及び展示の手伝いについては詳細を教えていただいた後、案内したい。

◆特定非営利活動法人 U. grandma. Japan (折原)

①もてころ食堂

- ・6/25(土)に開催。NPOセンターも参加。今回、得意なことについて聞き取りをしたい。オフィスセイケから提供の「ガチャガチャ」も持参し、参加者に楽しんでいただく。

②キッチンカー

- ・6/25(土)で一旦終了。引き続き何か連携できることがあれば手伝いたい。
- ・(一社)RCFからの事業で、来年3月まで毎月1回、ひとり親世帯や困窮世帯へフードパントリーを行う。災害をきっかけに困窮した世帯や孤独孤立が心配される世帯へ支援。NPOセンターや宇和島グランマに情報をいただければ直接、対象世帯へ物資を送ることも可能。ニーズがあればぜひ繋いでいただきたい。

③出張こども食堂

- ・開催先で、被災を経験された方に困りごとなどの話を聞くと、雨が降った時に災害前と感じ方が違うという声を聞く。市からの行政連絡放送(避難の試験放送)を聞いても怖く感じてしまう等。また、災害のことを話すと涙する方もおられ、3年余りが経っても心の傷は癒えていないと感じた。NPOセンターとしてできることはないか考えていて、こども食堂などを通じて少しでも不安を抱えている方が話す機会を作ることができればと考えている。牛鬼会議の場でも良いので、何かこういったことができるという提案があれば共有いただきたい。

◆地域支えあいセンター(佐藤)

①サロン活動・被災者支援

- ・これまで、立間、白井谷、奥南地区等での活動に参加。白井谷地区などサロンを自主開催できるようになった地区もあり、奥白井谷地区のサロンは自分達で自主サロンを行うようになり今月で3回目を迎えた。支えあいセンターからは主催では無く参加という形で行っている。被災者の中には、この時期は雨の気がなくなり中々消えることは無く、砂防ダムが完成するまでは精神的に落ち着くことにはならないだろうという声も聞く。
- ・サロン自体が終了しても中々参加者が帰ろうとされないことがあった。比較的若い世代から高齢の方も残って話をされていた。被災によって住まいがバラバラになりご近所のつながりや話をする機会も無くなってしまった。そういう機会を作っていく支援をしないといけないと感じている。
- ・警報や試験放送等で行政連絡放送が流れると食事が美味しく無くなってしまおうという方もおられる。市としても警報や試験放送は大事な放送であり、緊急時のみ放送するといった形はできないが、傾聴し共感することは続けている。
- ・災害時の土嚢積みなどボランティア活動についても、何かあればボランティアに助けてもらうというよりも、地域での見守り、助け合いが重要。環境ができていない地域では、環境を作っていくこ

とが大事。

→ (特定非営利活動法人 U. grandma. Japan (折原))

奥南で開催されたサロン活動に出張こども食堂も参加。市広報の方も取材に訪れた。広報の方に伝えたこととして、活動の良い面だけで無く、工事がまだ途中の場面なども見てほしいとお願いした。活動を通じて地域の方の助け合いに繋がり、ボランティア頼みでは無く、自分たちで助け合うという基盤づくりの助けになることができればと思う。

→ (吉田町手をつなぐ育成会 (山本))

発災から丸4年を迎えるが、白浦地区など工事中の箇所もある。被災した方々が感じる不安な気持ちについて、その気持ちを共有してそれを共有された方に承認してもらい安心して話せる環境や場ができることで、少しずつ気持ちが平らになっていくと感じる。

→ (愛媛新聞社南予支社 (阪和))

昨年4月に宇和島へ赴任。被災当時を知らないが、本日、NPOセンター山口さんと一緒に被災者の生の声を聞かせていただき、心の傷は年数では無いと実感した。現場で支援にあたっている方々の声を聞かせていただくこともできた。引き続きよろしくお願ひしたい。

◆ オフィスセイケ (清家)

① FM ギイヤ

- ・ FM ギイヤで、内容に防災や現場の方の声を企画コーナーに入れてきた。
- 番組が8月から刷新され、宇和島ワールドリンクというタイトルに。毎週水曜13時から15分放送。YouTubeでも流す予定。情報を定期的に共有いただければラジオでも紹介することが可能。情報の補完の仕組みづくりをしたいと考えている。また、外国人の視点で宇和島を紹介する企画も始める。次回牛鬼会議にて共有したい。

◆ 吉田町手をつなぐ育成会 (山本)

① 障害者一般就労移行等促進事業合同説明会 in なんよ

- ・ 7/13 (水) 10時~15時 (オンライン開催)
- 主催：南予地域就労支援ネットワーク連絡会 (構成機関は資料のとおり)
- 福祉サービス利用のための情報提供の場。うわ特別支援学校高等部の生徒がオンライン参加。事業所紹介のほかブレイクアートルームでの面談も行う。
- 高等部生徒もiPadを使って参加するがこれも大きな経験。コロナ禍だから身につけることができるスキルもある。
- 10月には一般就労対象もオンライン又はリアルで開催検討。リアルの場合、西予市と宇和島市の2会場開催。周知をお願いしたい。

- ・ 障がいのある方だけの問題では無く様々な方が安心して暮らせるまちを目指して活動している。
- 困りごとは一つの部類には括られない。見方によって対応方法も違う。例えば子ども食堂に参加する方の中には生活に困窮している世帯の方も含まれる。宇和島NPOセンターとしても、NPO団体への支援を続ける中で次に起こるであろう災害に向けて活動しているが、関わっている団体にはNPO法人の事業所等も多く含まれる。事業所などもZoomやプレゼンが苦手だったが段々できるようになってきている。場を作ってサポートする関係性ができることでNPO団体が連携してそれぞれにできることを考えたり話し合うことができる繋がりを作っていきたい。

◆宇和島市社会福祉協議会（松田）

①宇和島地区権利擁護センター「ピット」

- ・ 4月から、新たな事業として開始。成年後見制度や福祉サービスを利用した方やその家族、支援者からの相談に応じる。相談したい悩み事を解決していこうという流れ。
- ・ 広域での活動となり、松野町、愛南町、鬼北町と連携。関係機関としては本市が主幹。6/19（日）に、司法書士を相談員として招き無料相談会を開催する。基本は予約制だが当日参加も可能。
- ・ 1年間をかけて開催し、冬にかけて第2回も開催予定。事業について分かりにくいことがあれば職員が講座なども開催しており民生委員向けに説明会も開催。職員が出向いて説明会を開くこともできるので社協まで連絡いただきたい。

◆愛媛大学（前田）

①八幡浜トロール会議

- ・ はがきサイズのパンフレットを作成。会員制度でサポーターを募っている。
- ・ パンフレットのQRコードで申し込みも可能なほか支援者向け災害情報ポータルサイトも運営している。ぜひご覧いただきたい。

■次回、第71回牛鬼会議（予定）

日時： 令和4年7月15日（金）18時00分～

場所： 宇和島市総合福祉センター 3階

■本会議録作成者

特定非営利活動法人宇和島NPOセンター 林 昭子